令和8年度前期 学部1年生向け 学修支援サービス 実施報告

2026/8/5

学術情報センター

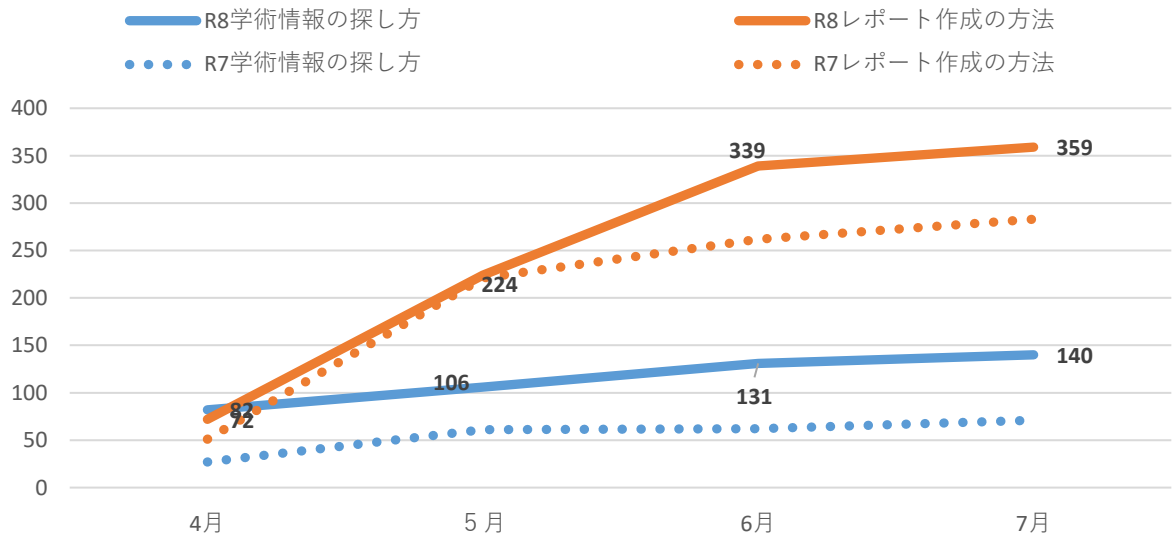
【問い合わせ・連絡先】

library@yokohama-cu.ac.jp

ガイダンス実施実績

①ガイダンス動画及びPDF資料

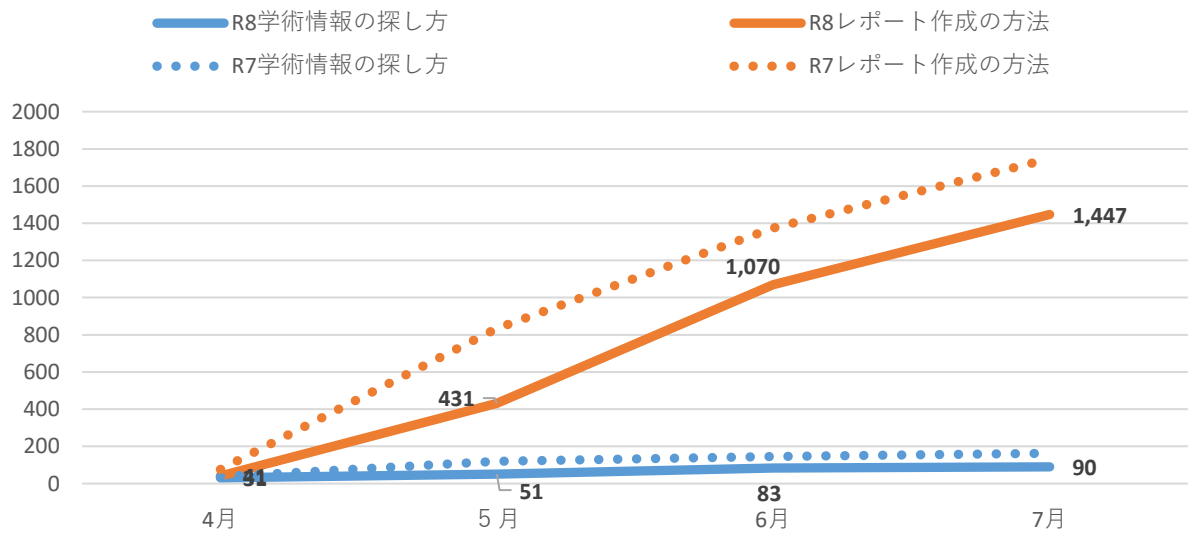
動画視聴累計数推移（4-7月）



→いずれも昨年度より視聴回数が伸びています。

PDF資料閲覧累計数推移（4-7月）

今年度も動画より
PDFが好まれる傾向



→いずれも昨年度と同様の傾向が読み取れますが、
閲覧回数は減少傾向にあります。

ガイダンス実施実績

②教養ゼミ授業内で実施したガイダンス

受講人数：1,262人（のべ）

実施回数：24回（のべ）

【参考】令和7年度前期実績
受講人数：1,308人（のべ）、実施回数：30回（のべ）

対面ガイダンス	受講人数	実施回数
学術情報の探し方	264人	9回
レポート作成の方法	224人	7回
クラス毎に希望の内容を組み合わせたガイダンス	125人	4回

外国語文献の探し方、市大にない資料の入手方法、
Zoteroの使い方、データの可視化などを加えてカスタマイズ

※令和8年度は人員体制の都合上、館内ツアーは実施しませんでした。

Teamsガイダンス	受講人数	実施回数
学術情報の探し方	291人	2回
レポート作成の方法	358人	2回

4/21（火）、4/23（木）、4/28（火）、5/7（木）の全4日程で実施
【各回の参加クラス数】
学術情報の探し方：4/21…5クラス　4/23…4クラス
レポート作成の方法：4/28…6クラス　5/7…5クラス

ガイダンス受講アンケート結果（抜粋）

ガイダンス満足度

80.7%

※教養ゼミにおける受講アンケート有効回答数：1,070件
満足度で5（満足）あるいは4（やや満足）を選んだ回答数：864件

心配なことや分からないこと

- レポートの作成時の引用のやり方。
- 参考文献の書き漏れが心配だなと感じました。
- 参考文献の書き方や本文中での引用に間違いが生じそうで心配です。
- 参考文献の書き方はお手本を見ながらで無いと当分は正しく書けないなと思った。
- 論文・レポートのテーマ設定の部分はわかったが引用部分の出展の書き方がまだ心配です。

参考文献の書き方に対する不安を抱えている学生が多数

- 難しいのでしばらくしたら忘れそう。
- 一旦は理解することができましたが正直覚えていられる気がしないことが心配です。
- 情報量が多すぎて覚えきれていないこと。

難しさ、情報量の多さに不安を覚える学生もいました

一度のガイダンスですべてのルールや
検索スキルを身につけるのは困難です。
動画・PDF資料を活用して
復習することをおすすめします。
それでも困ってしまったときは
レファレンスカウンターを活用しましょう！

学情からの回答

この他にも、
- 本の予約方法や借り方が分からない。
- 文献複写の依頼の仕方が分からない。

といった感想もありました。
「**学術情報センターの使い方**」もあわせてご活用ください。

ガイダンス受講アンケート結果（抜粋）

意見・感想・要望

- 自分で演習する時間、間違いを話し合う時間などが多くあり、理解が深まりました。スピード感が良く、自分でやる作業があったので理解が深まった。
- 同じような作業ばかりで眠くなる。
- もう少し学生側に色々体験させる機会を増やすと、もっと効果的なガイダンスになると思います。

実践形式はR9以降も引き続き
継続してまいります！
実習内容も検討していきます。

- スライドも分かりやすかったため、見返しながら活用していきたいと思いました。
- PDFを残して下さっているので、わからないことも逐一確認できるのが有り難いです！
- スライド全部のせて欲しいなと思いました。
- スライドやまとめ資料を配布して復習できるようにしてほしい。

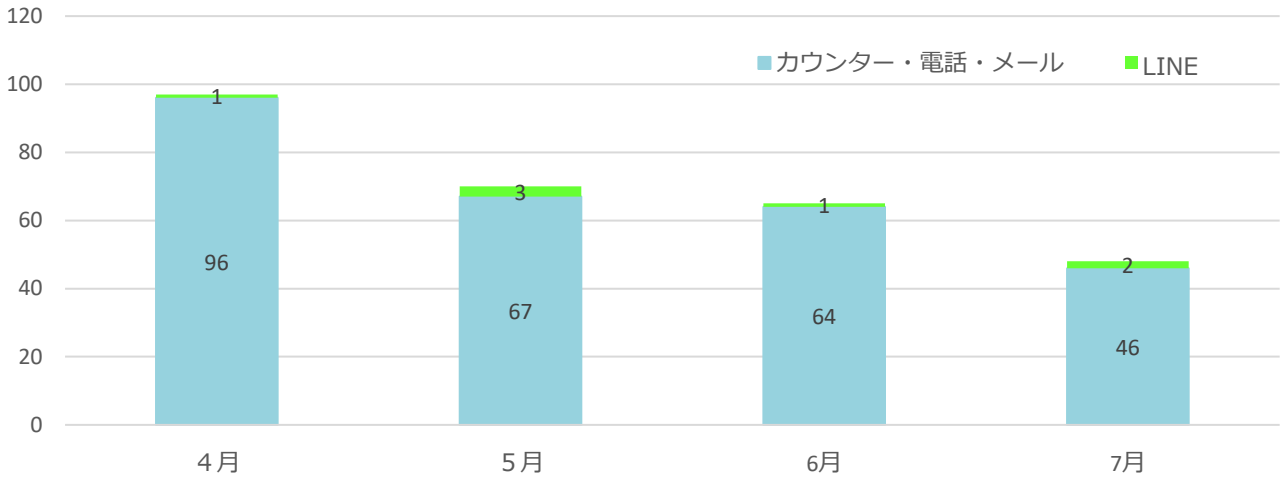
担当職員から事前にお送りするスライドには
練習問題の解答以外は原則全て含めています。
学習効果を高めるためにも、学生への
事前共有にご協力をお願いいたします！

- PDFが良く出来ているのでわざわざ講義せず、PDF事前配布と練習問題の提出で良いのでは？
- クラスに集まらず一律オンデマンド配信でも良いかなと思いました。
- 結構当たり前のことをダラダラやっている感じがしたので、授業のコマを使うならもっと新しいことや実用的なことを学びたかったです。

対面で実施する意味のあるガイダンスと
なるよう、ブラッシュアップしていきます。
また、学生間のスキルの差については
今後も留意のうえ、内容を検討します。

レファレンス実施実績

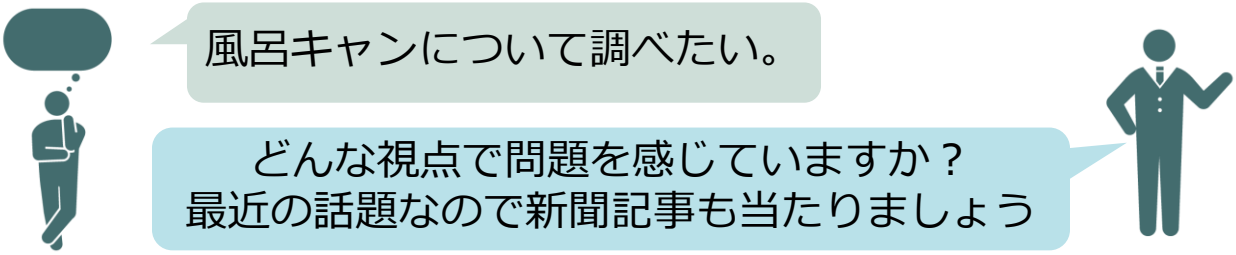
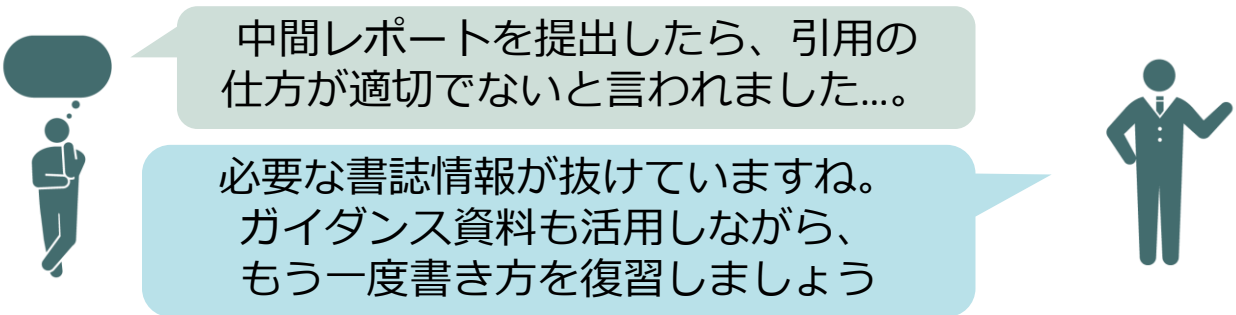
相談件数推移（4-7月）



学部1年生以外も含む、学生からの相談件数
＊カウンター・電話・メール　273件（前年比-2件）
＊LINE　7件（前年比-4件）

相談内容の傾向

- 前期前半はレポートに関する資料を探しに来る学生が多く、キーワード設定に関するアドバイスを多く行いました。



- 前期後半にさしかかるに連れて、具体的なレポートの書き方（参考文献、引用など）や論のまとめ方に関する相談が増加。